

連続講座

働く大人の

週末ゼミ

上質な学びと大人の交流の場、働く大人の週末ゼミ。第三弾は、理系分野にフォーカス。「なんで？」が「なるほど！」に変わる夜を一緒に。

理系、実は身近。

第1回 11/13 (金)

ゲノム

食べものはどうやってできてきた？
— 品種改良の最新技術

人類は農耕を始めて以来、偶然生まれた「良いもの」を選び、栽培・飼育することで食べものを改良してきました。分子生物学の発展により、その「なぜ」がわかるようになり、今では「偶然」ではなく「設計して計画的に」作れるようになりました。DNA・遺伝子・ゲノムの基礎から、最新ゲノムの編集技術までお話しします。



京都大学大学院
農学研究科・准教授
木下政人さん

第2回 11/27 (金)

隕石

隕石とは何か？どこからくるのか？

隕石の多くは火星と木星の間にある小惑星帯から飛んできますが、火星や月から来たものもあります。平安時代、九州の神社に隕石が落ちた日本最古の記録や、南極での大量発見、隕石に含まれるダイヤモンドの謎、小惑星探査機「はやぶさ2」が明らかにしたことなど、隕石から宇宙の秘密に思いを馳せましょう！



大阪大学名誉教授
理学博士
松田准一さん

第3回 12/18 (金)

味覚

おいしさの科学

— おいしさとはどのような構造をしているのか

料理の基本ともいえる「ダシ」。私たちはなぜ、ダシの味を「おいしい」と感じるのでしょうか？そこには、味覚や身体の仕組みだけでなく、長い歴史の中で育まれた食文化も関わっています。ダシを手がかりに、生理学と文化の両面から「おいしさ」をひも解き、その奥にある秘密に迫ります。



京都大学名誉教授
甲子園大学特任教授
伏木亨さん

第4回 2027/1/8 (金)

数学
×
物理フラクタル日除け
「不完全だから進化する」
— 自然は100点を目指さない

穴だらけで、太陽の光は漏れてくるのに涼しい「フラクタル日除け」は、木漏れ日から着想を得て開発されました。自然は完璧を目指しません。ある瞬間に完璧でも、少し条件が変われば完璧でなくなってしまう。自然界はカオスです。少々条件が違って大崩れしないほうが大切なのです。



静岡県立大学
グローバル地域センター
特任教授、副学長
京都大学名誉教授
酒井敏さん

第5回 2027/1/22 (金)

建築

建築を読むのは、わたしたちの身体

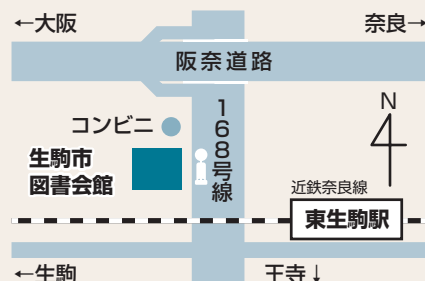
建築は、科学のような論理性と、芸術のような創造性を併せ持ちます。そこが面白い。誰もが皆、生まれた瞬間から三次元の空間である建築と対話しています。「建築を読む」とは、空間を認識する感覚のことです。身近にある建築を、いつもとは少し違う視点から一緒に考えてみましょう。



建築家
光嶋裕介さん

🕒 19:00～20:30 (開場18:30)

📍 生駒市図書館
パフォーマンススペース
(生駒市辻町238生駒市図書館会館内)



※公共交通機関をご利用下さい

全5回

定員各回70名

参加費無料



お申込み
はWEBから